

＝霊とまことによる礼拝＝

1. 霊とまことによる礼拝 その1：カインとアベルの礼拝 創世記4章

カインとアベルの出来事：宗教と信仰による礼拝の分かれ道。捧げ物は十字架のキリスト

2. 霊とまことによる礼拝 その2：サマリヤの女

背景 バビロン捕囚から帰還したユダヤ人たちによるエルサレム神殿の再建の際、サマリヤ人たちは協力を申し出るが、ユダヤ人は拒否。エズラ 4:1-5

そのためサマリア人はゲリジム山に自分たちの神殿を建設。ユダヤのハスモン家がサマリアを攻めてゲリジム山の神殿を破壊するが、サマリア人たちはその後も神殿跡地で過越祭を守り、ゲリジム山での礼拝を継続。

サマリヤの女の質問 宗教や宗派の違いに対する質問。

イエスの答え 主が受け入れられるのは、霊とまことによる礼拝。

3. まとめ

肉による礼拝は偶像礼拝。

コロサイ 3:5 だから、地上の肢体、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪欲、また食欲を殺してしまいなさい。

霊とまことによる礼拝。

礼拝でささげるささげ物は、傷の全くない子羊であるイエスキリスト。それを捧げる者は、自分ではなく礼服を着たイエスキリスト。⇒ 全てをイエスキリストに置く事。

主イエスキリストに全てを任せる感覚を、実際の歩みの中で訓練する必要。

地上の生活に親しんだ私たちは急には変わらない。出 23：29-30